

北海道高体連より

*新型コロナウイルス感染症に対する部活動に関する対応について

・令和2年3月24日付で文部科学事務次官より部活動に関する通知が入りましたが、北海道は春季休業中は自粛となっておりますので、部活動再開の通知が入った後、以下の方針に従って安全に部活動ができるよう準備を進めてください。

・部活動に関しては、地域の感染状況も踏まえ、3月9日の専門会議で示されている3つの条件が重ならないよう、実施内容や方法を工夫すること。部活動は、生徒の自主性、自発的な三かにより行われる活動であるが、生徒の健康・安全の確保のため、生徒だけに任せるのではなく、教師や部活動指導員等が部活動の実施状況を把握すること。

生徒に手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策を徹底させるとともに、部室等の利用に当たっては、短時間の利用としたり一斉に利用しないなどに留意するよう指導すること。また、生徒の発熱等の風邪の症状が見られる時は、部活動への参加を見合わせ、自宅で休養するよう指導すること。

・3月9日の専門会議で示されている3つの条件は、

1 人が集まる場の前後も含めた適切な感染予防対策の実施

- ①参加時に体温の測定ならびに症状の有無を確認し、具合の悪い生徒の参加を認めない。
- ②過去2週間以内に発熱や感冒症状で受信や服薬等をした生徒は参加させない。
- ③感染拡大している地域や国への訪問歴が14日以内の生徒は参加させない。
- ④体調不良の生徒が参加しないように、キャンセル代などについて配慮する。
- ⑤発熱者や具合の悪い生徒が特定された場合には、接触感染の恐れがある場所や接触した可能性のある者等に対して、適切な感染予防対策を行う。
- ⑥練習場所に入る際の手洗いの実施ならびに、大会や部活動の途中でも適宜手洗いができるような場の確保
- ⑦主に参加者の手が触れる場所をアルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含有したもので拭き取りを定期的に行う。
- ⑧飛沫感染等を防ぐための徹底した対策を行う。(例:「相手との距離を保つ」「声を出す機会を」最小限にする)「咳エチケットに準じて声を出す機会が多い場合にはマスクを着用する」など)

2 密閉空間・密集場所・密接場面などクラスター(集団)感染発生リスクが高い状況の回避

- ①換気の悪い密閉空間にしないよう、換気設備の適切な運転・点検を実施する。定期的に外気を取り入れる換気を実施する。
- ②人を密集させない環境の整備。練習する場所に入る人数を少なめにし、時間差を設けた工夫をする。
- ③大きな発声をさせない工夫
- ④共有物の適正な管理又は消毒の徹底

3 感染が発生した場合の参加者への確実な連絡と行政機関による調査への協力

- ①参加した者の中に感染者が出た場合は、その他の生徒に対して連絡を取り、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡をとれる体制を確保する。
- ②参加した個人は、保健所などの聞き取りに協力する。また、農耕接触者となった場合は、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性がある。

・今後の新型コロナウイルス感染症の推移を見ながら、必要に応じて、最新の情報や追加的な留意事項を提供する場合があります。

(2. 3. 30)